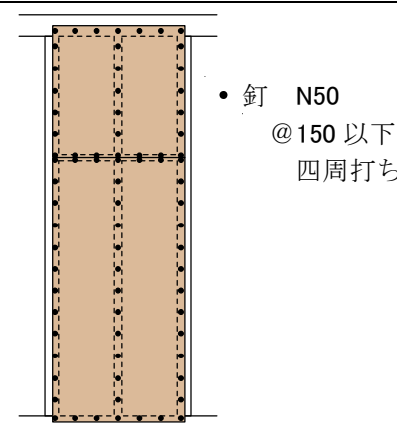
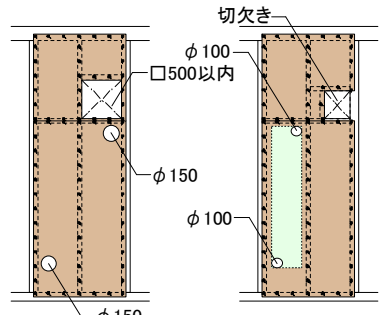
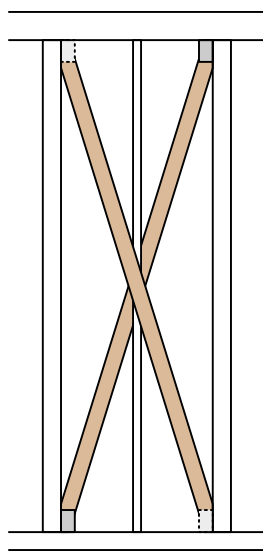
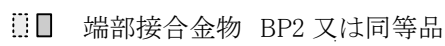


耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	評価日	平成 20 年 3 月 1 日	評価番号	A-001
評価技術名称 構造用合板を用いた在来補強工法					連絡先 http://www. 〒 電話 Fax			
概要	技術概要 建築基準法で壁倍率が指定されている構造用合板補強。							
	技術の特徴 ・ 一般流通品なので取り扱いが容易。 ・ ・					コスト サンプル構面 39,208 円 設計見積り例 あり		
	公的機関による技術評価・性能証明 機関名 評価番号 評価取得日				実験実施機関 その他			
仕様	適用範囲				写真・図			
	構法	木造在来軸組工法、						
	規模							
	基礎、地盤	特になし						
	適用部位	内外壁						
	その他	特になし						
	主要構成部材の仕様 構造用合板 厚 7.5 以上				切欠き 認めない。ただし、部分開口構造用合板補強に該当すれば、それに準ずる。			
	耐震性能 評価仕様:直貼大壁仕様 壁強さ倍率・壁基準耐力 5.2 kN/m 壁基準剛性 730kN/rad/m				穴あき(開口・孔) ・ 棧(胴縁)を切り欠かない□500mm以下の穴は可。 ・ 複数個ある穴の大きさは、構造用合板や棧(胴縁)に囲まれた区画ごとに、包絡形で考える。			
	設計方法 ①柱接合部による低減 取付部分が健全であることが前提。 ②劣化による低減 取付部分が健全であることが前提。							
	施工者指定 特になし				左 : OK 区画ごとに □500 以内			
その他 特になし				右 : NG 区画内の包絡形 が規定超 切欠き不可				

※写真・図は HP・カタログ資料等から引用しています。

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	評価日	平成 20 年 3 月 1 日	評価番号	A-002		
評価技術名称					連絡先	http://www.				
ニッ割筋かいを用いた在来補強工法					〒					
					電話	Fax				
概要	技術概要 建築基準法で壁倍率が指定されているニッ割筋かいのたすき掛け。									
	技術の特徴 ・ 一般流通品なので取り扱いが容易。 ・ 壁厚内に納まるので、既存壁と段差がつきにくく、取り合いが容易。 ・						コスト サンプル構面 54,144 円 設計見積り例 あり			
	公的機関による技術評価・性能証明 機関名 ・ 評価番号 ・ 評価取得日 ・					実験実施機関 その他				
仕様	適用範囲				写真・図					
	構法	木造在来軸組工法、								
	規模	3 階建て以下								
	基礎、地盤	特になし								
	適用部位	内外壁								
	その他	特になし								
	主要構成部材の仕様 ニッ割筋かい 45×90 以上 端部接合金物									
	耐震性能 評価仕様: ニッ割筋かい たすき掛け大壁仕様									
	壁強さ倍率・壁基準耐力		壁基準剛性							
	3.2×2=6.4kN/m		650×2=1300kN/m							
設計方法 ①柱接合部による低減 取付部分が健全であることが前提。 ②劣化による低減 取付部分が健全であることが前提。										
施工者指定 特になし										
その他 特になし										

※写真・図は HP・カタログ資料等から引用しています。

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	評価日	平成 20 年 3 月 1 日	評価番号	A-003		
評価技術名称					連絡先					
部分開口 構造用合板補強工法 「かさ上げ」					http://www.					
					〒					
					電話					
					Fax					
概要	技術概要 床・天井を解体することなく、土台・梁から添え材により床天井レベルまでかさ上げを施し、構造用合板で補強する。									
	技術の特徴						コスト			
	・ 天井・床を解体することなく補強が可能。						サンプル構面 15,609 円			
	・ 板厚 9mmなので、石膏ボード等の既存壁と段差がつきにくく、取り合いが容易。						設計見積り例 なし			
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関					
機関名					名古屋工業大学					
評価番号					その他					
評価取得日										
仕様	適用範囲				写真・図					
	構法		木造在来軸組工法、			<p>• 釘 N50 @150mm 以下 四周打ち 構造用合板 厚 9mm 以上</p> <p>かさ上げ寸法 $a+b \leq 370\text{mm}$</p>				
	規模		3 階建て以下							
	基礎、地盤		特になし							
	適用部位		内外壁							
	その他		特になし							
	主要構成部材の仕様									
	構造用合板 厚 9 以上									
	耐震性能									
	評価仕様:直貼大壁仕様									
壁強さ倍率・壁基準耐力		壁基準剛性								
5.2 kN/m		730kN/rad/m								
一般的な構造用合板の低減係数 $\alpha = 1.0$ 低減なし										
壁強さ倍率 $5.2 \times 1.0 = 5.2$										
設計方法				かさ上げ材 45×90mm 以上						
①柱接合部による低減				かさ上げ用 釘 N90、または同等長ビス						
取付部分が健全であることが前提。				(横架材、かさ上げ材に対して)						
②劣化による低減										
取付部分が健全であることが前提。										
施工者指定										
特になし										
その他										
特になし										

※写真・図は HP・カタログ資料等から引用しています。

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	評価日	平成 20 年 3 月 1 日	評価番号	A-004.2
評価技術名称					連絡先			
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.			
「上下あき」裏棧あり、なし					〒			
					電話		Fax	
概要	技術概要							
	梁及び土台と面材が接合されていない構造用合板補強である。 床天井間のみを構造用合板で補強する工法。							
	技術の特徴					コスト		
	<ul style="list-style-type: none"> 天井・床を解体することなく補強が可能。 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能な裏棧なしの仕様もある。 					サンプル構面		13,766 円 (裏棧あり)
設計見積り例					あり			
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関			
機関名					名古屋工業大学			
評価番号					その他			
評価取得日								
仕様	適用範囲				写真・図			
	構法	木造在来軸組工法、			部分開口 : $a+b \leq 370\text{mm}$			
	規模	3 階建て以下						
	基礎、地盤	特になし						
	適用部位	内部壁						
	その他	特になし						
	主要構成部材の仕様							
	構造用合板 裏棧あり厚 9 以上、裏棧なし厚 12 以上							
	裏棧を設ける場合は面材の上端と下端に 45×90 以上							
	裏棧の端部は柱に釘 N75 を斜め打ち 2 本							
耐震性能								
評価仕様: 直貼大壁仕様 裏棧あり、なし								
壁強さ倍率・壁基準耐力		壁基準剛性						
裏棧あり	4.16kN/m	584kN/rad/m						
裏棧なし	3.64kN/m	511kN/rad/m						
裏棧あり: 一般的な構造用合板の低減係数 $\alpha = 0.8$ 壁強さ倍率 $5.2 \times 0.8 = 4.16$								
裏棧なし: 一般的な構造用合板の低減係数 $\alpha = 0.7$ 壁強さ倍率 $5.2 \times 0.7 = 3.64$								
設計方法								
①柱接合部による低減 取付部分が健全であることが前提。				<ul style="list-style-type: none"> ・釘 N50 @150mm 以下 四周打ち 端あき 20mm 以上 構造用合板 厚 9mm 以上 上下裏棧 45×90mm 以上 柱に対し 2-N75 斜め打ち 				
②劣化による低減 取付部分が健全であることが前提。				<ul style="list-style-type: none"> ・釘 N50 @100mm 以下 川の字打ち 端あき 20mm 以上 構造用合板 厚 12mm 以上 端部端あき 20mm 				
施工者指定								
特になし								
その他								
平成 22 年 3 月 9 日 裏棧なし仕様追加								

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	評価日	平成 20 年 3 月 1 日	評価番号	A-005.2	
評価技術名称 部分開口 構造用合板補強工法 「押入」裏棧あり、なし					連絡先 http://www. 〒 電話 _____ Fax _____				
概要	技術概要 押入の床及び天井の間で段板を除いた部分を構造用合板で補強する耐震補強工法。								
	技術の特徴 ・ 天井・床・中段・枕棚/天袋を解体することなく補強が可能。 ・ 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能な裏棧なしの仕様もある。					コスト サンプル構面 17,352 円 (裏棧あり) 設計見積り例 あり			
	公的機関による技術評価・性能証明 機関名 ・ 評価番号 ・ 評価取得日 ・				実験実施機関 名古屋工業大学 その他				
仕様	適用範囲					写真・図 部分開口 : $a+b \leq 370\text{mm}$ $c+d \leq 400\text{mm}$ それぞれの構造用合板高さ 400mm 以上			
	構法	木造在来軸組工法、							
	規模	3 階建て以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内部壁							
	その他	特になし							
	主要構成部材の仕様								
	構造用合板 裏棧あり厚 9 以上、裏棧なし厚 12 以上 裏棧を設ける場合は面材の上端と下端に 45×90 以上 裏棧の端部は柱に釘 N75 を斜め打ち 2 本								
	耐震性能								
	評価仕様: 直貼大壁仕様 裏棧あり、なし								
		壁強さ倍率・壁基準耐力	壁基準剛性						
裏棧あり		3.12kN/m	438kN/rad/m						
裏棧なし		1.82kN/m	160kN/rad/m						
裏棧あり: 一般的な構造用合板の低減係数 $\alpha = 0.6$ 壁強さ倍率 $5.2 \times 0.6 = 3.12$ 裏棧なし: 一般的な構造用合板の低減係数 $\alpha = 0.35$ 壁強さ倍率 $5.2 \times 0.35 = 1.82$									
設計方法									
①柱接合部による低減 取付部分が健全であることが前提。 ②劣化による低減 取付部分が健全であることが前提。									
施工者指定									
特になし									
その他									
平成 22 年 3 月 9 日 裏棧なし仕様追加									
					裏棧あり ・釘 N50 @150mm 以下 四周打ち 端あき 20mm 以上 構造用合板 厚 9mm 以上 上下裏棧 45×90mm 以上 柱に対し 2-N75 斜め打ち				
					裏棧なし ・釘 N50 @100mm 以下 川の字打ち 端あき 20mm 以上 構造用合板 厚 12mm 以上 端部端あき 20mm				

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	評価日	平成 22 年 3 月 9 日	評価番号	A-006							
評価技術名称					連絡先										
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.										
「真壁 上下あき」、「真壁 押入」					〒										
					電話		Fax								
概要	技術概要														
	床、天井間のみをアルミアングルと構造用合板で補強する耐震補強工法。														
	技術の特徴						コスト								
	<ul style="list-style-type: none"> 土壁・天井・床・中段・枕棚/天袋を解体することなく真壁や入隅に施工が可能。 真壁の仕上がりで補強が可能 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。 						サンプル構面 なし 設計見積り例 なし								
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関										
機関名					名古屋工業大学										
評価番号					その他										
評価取得日															
仕様	適用範囲				写真・図										
	構法	木造在来軸組工法、			部分開口 : $a+b \leq 370\text{mm}$										
	規模	3 階建て以下			$c+d \leq 400\text{mm}$										
	基礎、地盤	特になし			それぞれの構造用合板高さ 400mm 以上										
	適用部位	内部壁													
	その他	特になし			<ul style="list-style-type: none"> 木ビス(コーススレッド) L=32 @100mm 以下 端部の端あき寸法は 20mm 構造用合板 厚 12mm 以上 										
	主要構成部材の仕様														
	構造用合板 厚 12mm 以上				アルミ不等辺アングル 9×40 t=1.5 またはこれ以上のサイズのもの JIS H4100 の A6063-T5 材(アルミ建築構造設計基準で AS110 材)またはこれと同等の強度を有するもの 木ビス(コーススレッド) L=32、木タッピングビス L=30										
	耐震性能				評価仕様: 直貼真壁仕様 <table border="1"> <tr> <td>壁強さ倍率・壁基準耐力</td> <td>壁基準剛性</td> </tr> <tr> <td>上下あき 4.16kN/m</td> <td>584kN/rad/m</td> </tr> <tr> <td>押入 2.08kN/m</td> <td>292kN/rad/m</td> </tr> </table>					壁強さ倍率・壁基準耐力	壁基準剛性	上下あき 4.16kN/m	584kN/rad/m	押入 2.08kN/m	292kN/rad/m
	壁強さ倍率・壁基準耐力	壁基準剛性													
上下あき 4.16kN/m	584kN/rad/m														
押入 2.08kN/m	292kN/rad/m														
設計方法				①柱接合部による低減 取付部分が健全であることが前提。 ②劣化による低減 取付部分が健全であることが前提。											
施工者指定				特になし											
その他				平成 22 年 5 月 20 日 アルミアングル 訂正											

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	評価日	平成 22 年 3 月 9 日	評価番号	A-007		
評価技術名称					連絡先					
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.					
「換気扇」					〒					
					電話		Fax			
概要	技術概要									
	裏棧を用いることなく、構造用合板に開口部を設けた耐震補強工法。									
	技術の特徴						コスト			
	<ul style="list-style-type: none"> 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能な裏棧なしの仕様。 換気扇などの開口部にも使用可能。 一般流通品なので取り扱いが容易。 						サンプル構面 なし 設計見積り例 なし			
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関					
機関名					名古屋工業大学					
評価番号					その他					
評価取得日										
仕様	適用範囲				写真・図					
	構法	木造在来軸組工法、								
	規模	3階建て以下								
	基礎、地盤	特になし								
	適用部位	内外壁								
	その他	特になし								
	主要構成部材の仕様									
	構造用合板 厚12mm以上									
	釘 N50 @100mm以下									
	耐震性能									
	評価仕様:直貼大壁仕様									
	壁強さ倍率・壁基準耐力		壁基準剛性							
	4.68kN/m		657kN/rad/m							
	一般的な構造用合板の低減係数 $\alpha = 0.9$									
	壁強さ倍率 $5.2 \times 0.9 = 4.68$									
設計方法										
①柱接合部による低減										
取付部分が健全であることが前提。										
②劣化による低減										
取付部分が健全であることが前提。										
施工者指定										
特になし										
その他										
特になし										

※写真・図は HP・カタログ資料等から引用しています。